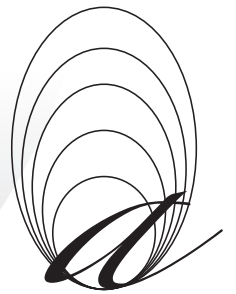


Hot Paper

Kurata Akiko



2013. 夏 No.07

くらた あきこ
桑名市議会 倉田 明子 新自由クラブ



例年より少し早い梅雨に入りました。洗濯物は乾きにくく、食中毒が起きやすい、あまり歓迎されない梅雨ですが、盛夏期に必要な水を蓄える重要な季節でもあります。もし雨で外出を控えるのでしたら、お気に入りの音楽をBGMにゴロゴロダラダラする、買いためしてあった本を引っ張り出して読む、DVDを見るなど、梅雨のひと時、家で過ごす時間を楽しんでみるのもいいかもしれませんね。

さて、伊藤新市政が誕生して半年が過ぎようとしています。市長は「地域に出向いて市民の皆様と対話をする『どこでも市長室』」、また「さまざまな活動をしている団体の皆様と意見交換をする『市長カフェ』」など精力的にこなし、若い市長ならではのフットワークのよさを感じます。その反面「市長の掲げるビジョンからは何をどうしたいのか、桑名をどう守って、市政をどう変えたいのか、具体的施策が見えてこない。」などと不安視する声も聞こえてきます。

市長にはぜひ、具体的な青写真を市民に提示していただき、若さと行動力で安心・安全のまちづくりにまい進していただきたいと思います。


さて、伊藤市長に対し平成24年12月定例会、平成25年3月定例会において何点が質問させていただいております。その中から今回は、市長が所信表明で掲げたまちづくりにおける「新・桑名市7つのビジョン」から2問、「教育について」から1問を要約して掲載させていただきます。



一般質問の概要


①「中央集権型から全員参加型の市政に」について

Q





質問 所信表明の中で市長は「旧態依然とした役所風土を改める」とおっしゃっているが、市役所に残る「縦割り行政」も「旧態依然とした役所風土」だと考える。市長はそこにどう風穴を開けようとしているのか。

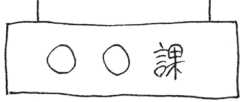
A



倉田の思い



市民の方から、「部署が違うからということで、よく似た書類をいくつも書かされた」「窓口でたらい回しにあった」という声をお聞きすることがあります。市役所も以前に比べればすいぶん窓口対応がよくなってきていますが、改善すべき点はまだまだあります。「縦割り行政」もその一つだと言えると思います。国のシステムによるところが大きいとは思いますが、全国各地でも「一度の手続きで、様々な行政手続きを一度に行える『ワンストップサービス』の導入」、「子どもに関わる事業は『教育』『福祉』の壁を取り払った所管を設けて取り組む」など、柔軟な対応がとられてきています。新体制になった今だからこそ、市長には「行政にとって都合のよい市政」から「市民の目線に立った行政サービス」へと大胆に改革していただきたいと思います。



※縦割り行政・・・庁内各部署間の連携に欠ける行政システム。上下の関係はあっても横のつながりに欠け、各部署の施策の違いもあり足並みが揃わないため、市民の視点からは無駄や効率が悪く映る。

桑名市メールマガジン

災害時や非常事態発生時、又は子育て支援情報などを桑名市が携帯電話に電子メールで情報を提供しております。ぜひご覧ください。

- ・迷惑メール防止機能を設定している場合は、受信できるドメインとして「anshin-bousai.net」を指定してください。
- ・メールアドレスの登録は無料ですが、メールが発行され着信すると、各携帯電話会社の通常のポケット料金がかかる場合があります。(1メールあたり0~2円程度)



②「子どもを3人育てられるまちに」について

質問 市長は「日本にとって一番の課題は少子・高齢化であり、日本の将来、桑名の将来にとっては、子どもを産み育てる環境整備がとても大切だと認識している」とおっしゃっている。その一環として、学童保育所の小学校内開設を提唱されているが、小学校内の学童保育所設置は、敷地面積やセキュリティの関係で、なかなか進まなかった経緯がある。どのように実現していこうと考えているのか。

倉田の思い 働く保護者の方にとって、自分たちが帰るまでの間、安心して子どもを預けられる学童保育所はなくてはならない存在です。その学童保育所が小学校内にあれば、どれだけ安心できるでしょうか。**学童保育所小学校内開設の要望は、以前から本当にたくさんの方からいただいています。**このようなきめの細かい支援を積み重ねて、はじめて市長の提唱する「**子どもを3人育てられるまちに**」が現実のものになると思います。**早期実現を期待します。**

答弁 市内には19箇所の学童保育所が開設されているが、小学校内に開設されているのは現在一箇所。学童保育所の校内開設は、保護者のニーズ調査でも多くの声が寄せられている。今後、就学前施設再編に関する答申に基づく小学校併設幼稚園舎の活用など小学校の敷地の余裕状況等を勘案し、運営団体、保護者等と調整を行いながら、学校内への既存学童保育所の移転を検討していきたい。

③「教育委員会」制度について

質問 「大阪市で体罰を苦にしたバスケットボール部の主将が自らの命を絶つという痛ましい事件があり、学校と教育委員会の対応に納得しなかった橋下市長が自ら陣頭指揮をとる」との報道があった。教育に真っ向から首長が踏み込む例として注目を浴びている。同じ首長としての伊藤市長の見解を問う。

倉田の思い 大阪で起こった体罰による自殺、大津でのいじめによる自殺などの事件により、教育委員会のあり方が問われています。教育委員会は非常勤の教育委員による合議制のため「緊急時に迅速な対応がとれない」、「責任の所在が不明確」、また「ほとんどの政策は教育長をトップとする事務局を作る」などの理由から、一部で教育委員会不要論も提唱されています。教育委員会の形骸化は懸念されますが、「**政治的中立性**」「**教育の継続性・安定性**」「**民意の反映**」という**教育委員会の理念**は必要ではないかと考えます。中央教育審議会においては、教育委員会改革の議論が始まりました。首長の権限の強化も論点の一つだそうです。

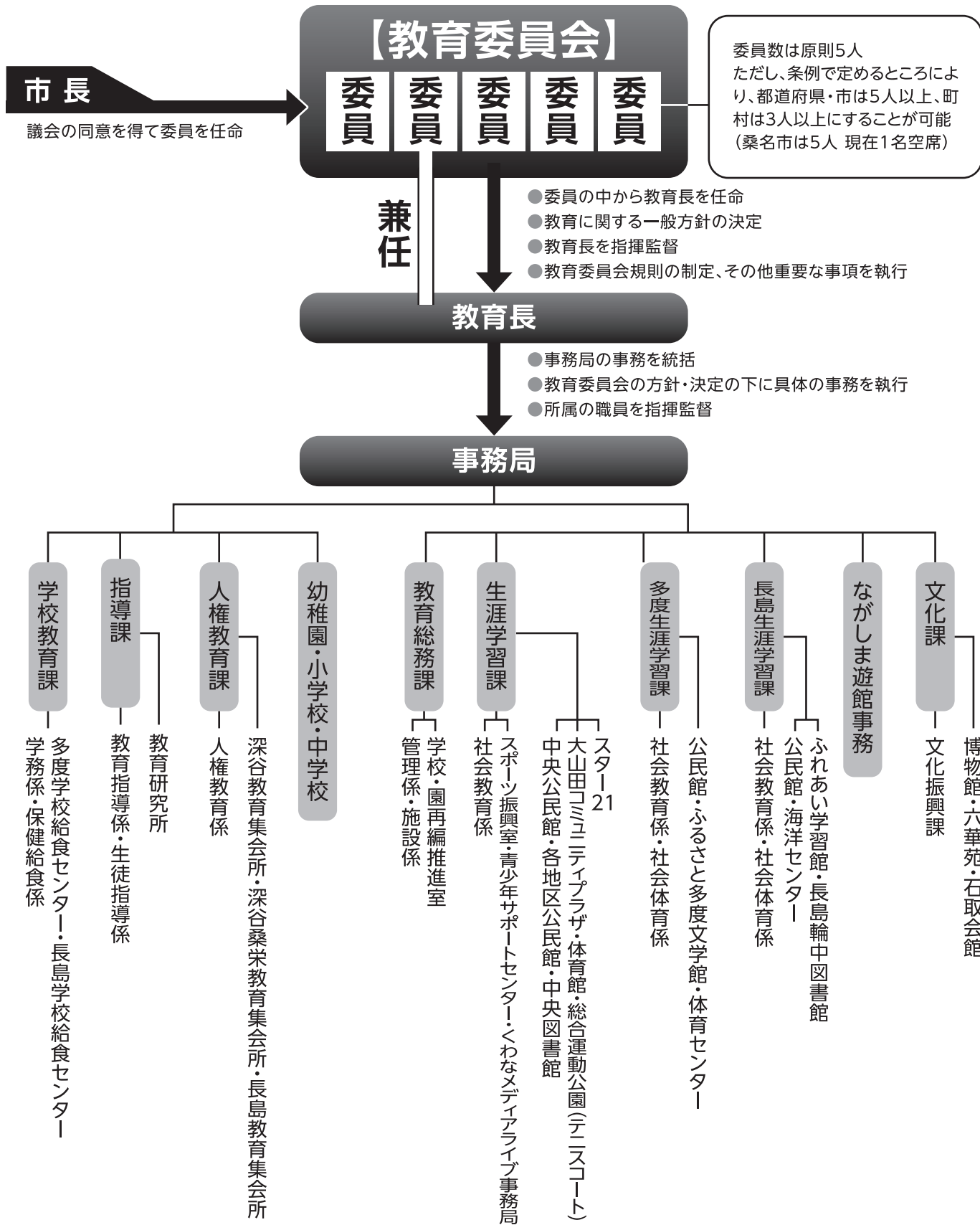
「『教育委員会』という言葉はよく聞くけど、どういうものか実態がわからない」との質問をよくいただきますので、組織図を掲載させていただくことにしました。「教育委員会事務局」が「教育委員会」だと思っていられる方も多いのではないのでしょうか。組織図を見ながら、**桑名市の未来を担う大切な子どもたちに大きな影響を及ぼす「教育」について、共に考えていただければありがたいです。**

※桑名市教育委員会の詳しい組織図は裏面に掲載いたしました。

答弁 大阪の事件のような緊急で予測のつかない事態が発生した場合には、大阪のような対応が迫られることがあるかもしれないが、現時点では教育委員会と十分な連携を図りながら情報共有をする中で、さまざまな問題の解決に取り組んでいきたい。



桑名市教育委員会



※文部科学省「教育委員会制度」参照

報告担当者: 倉田明子 連絡先: 桑名市松ノ木7-9-13 TEL・FAX: 32-2432
発行: 桑名市議会 新自由クラブ 桑名市中央町2-37 TEL: 24-1311